

生誕
100年

彫刻家 辻晉堂展

Shindo Tsuji: A Retrospective



《迷盲》1957年 陶彫 神奈川県立近代美術館蔵 [第三章より]

常識を越えて。

鳥取県日野郡二部村(現・西伯郡伯耆町)に生まれた辻晉堂(1910-1981)は、第二次世界大戦後、陶などによる斬新な彫刻作品を発表し、戦後の彫刻界に独自の位置を占めた芸術家です。辻は1931年に上京して独立美術研究所で洋画を学び、その後、彫刻に転じて戦前・戦中は木彫を中心に日本美術院展に出品し、その迫真的な写実表現は平櫛田中などから高い評価を得て、1942年には32歳で最年少の日本美術院同人になりました。1949年に京都市立美術専門学校(現・京都市立芸術大学)に赴任後は、抽象的な造形に向かい、1955年頃からは抽象的な陶による彫刻作品(陶彫)に精力的に取り組みます。

自在の境地へ。

陶芸の常識を超えた辻の技法と表現は、走泥社同人らを始めとする前衛陶芸家たちにも大きな影響を与えたとされています。また、1958年の第29回ヴェネツィア・ビエンナーレで《寒山》などを発表し、国際的な評価を得ました。一方、得度した禅僧としての一面も持つ辻は、次第に「彫刻」という概念にとらわれない境地に進み、晩年は自ら「粘土細工」と呼んだ、ユーモアと自由が練り込まれた小品を数多く制作しました。およそ四半世紀ぶりの本格的な回顧展となる本展覧会では、初期の木彫から、独創的な陶彫作品を経て、晩年の小品に至る約110点の作品により、求道的とも評される辻晉堂の創作の全体像を紹介します。

尚、前期(1月29日-2月27日)と後期(2月29日-3月27日)で、一部作品の入れ換えがあります。

2011年1月29日(土) - 3月27日(日)
神奈川県立近代美術館 鎌倉
The Museum of Modern Art, Kamakura

主催: 神奈川県立近代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協賛: ライオン、清水建設、大日本印刷

休館日: 月曜日(3月21日(祝)は開館)、3月22日(火)
開館時間: 午前9時30分から午後5時[入館は午後4時30分まで]
観覧料: 一般800(700)円、20歳未満と学生650(550)円、65歳以上400円、
高校生100円、中学生以下および障害者手帳をお持ちの方は無料です。
*()内は20名以上の団体料金です。

●ファミリー・コミュニケーションの日

毎月第1日曜日(今回は2月6日と3月6日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は、優待料金(65歳以上の方を除く)でご観覧いただけます。



《出家》1939年 木 東京藝術大学蔵 [第I章より]



《裸婦》1951年 白セメント
京都国立近代美術館蔵 [第II章より]



《時計》1956年 陶彫
京都国立近代美術館蔵 [第II章より]



《寒山》1958年 陶彫 鳥取県立博物館蔵 [第III章より]



《寒拾(Kan-Jyu)》1965年 鉄 鳥取県立博物館蔵 [第IV章より]

● 展覧会構成

I 「写す彫刻」から「表す彫刻」へ 1934-1950

戦中までの初期の写実的な木彫を中心に紹介する。

II 素材との対話—抽象的表現へ 1950-1957

セメント彫刻から陶彫へ、また抽象化へと進む過程を紹介する。

III 我流陶彫の深化

—ヴェネツィア・ビエンナーレ出品作品を中心に 1957-1960

1958年の第29回ヴェネツィア・ビエンナーレに出品された7点中、現在所在がわからない1点を除く6点を始め、陶彫の代表作を紹介する。

IV 壁のような彫刻と版画表現—相似的、相補的 1960-1970

説明的要素を排した平らな壁のような作品への新しい展開を紹介する。

V 反彫刻的彫刻—晩年の問いかけ 1970-1981

それ以前の大型の陶彫作品とは対照的な、「彫刻解脱」ともいべき、手びねりによるユーモラスな表現を紹介する。

● 展覧会図録

縦 245mm×横 200mm 208ページ(カラー112ページ)

展覧会出品作品全点のカラー図版に加え、辻晋堂によるモニュメントや陶壁など公共の空間での作品の図版も掲載しています。また、巻末には、「辻晋堂主要彫刻・版画作品目録」として、347点のモノクロ写真と作品データを載せるなど、辻晋堂の創作の全貌を紹介するのみならず、日本の近代彫刻の一面を捉える上でも重要な資料集となっています。

● 関連企画 * 申込不要、参加無料(ただし、観覧券が必要です。)

◆ 「彫刻家 辻晋堂展」オープニング記念トーク

1月29日(土) 午後2時より

三浦努氏(鳥取県立博物館学芸員)と水沢勉(当館副館長)による対談を展示室内で行います。

◆ 担当学芸員によるギャラリートーク

2月13日(日)、2月26日(土)、3月5日(土)、3月19日(土)
各回午後2時より

● 優待料金のご案内

「彫刻家 辻晋堂展」の有料観覧券(65歳以上券、高校生券を除く)の半券を提示されると、同展覧会中に限り、葉山館で開催中の展覧会を優待料金でご覧いただけます。

● 同時開催

- ◆ 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館(0467-22-7718)
「山下菊二 コラージュ展」1月8日(土)ー3月27日(日)
- ◆ 神奈川県立近代美術館 葉山(046-875-2800)
「彫刻家エル・アナツイのアフリカ」展 2月5日(土)ー3月27日(日)

■ プレスリリース及び展覧会情報は、美術館ホームページでもご覧いただけます。 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

■ お問い合わせ先

神奈川県立近代美術館 鎌倉
〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-53
Tel. 0467-22-5000 / Fax. 0467-23-2464
広報担当: 山内・松尾
展覧会担当: 萩山(鎌倉館)水沢・平井(葉山館)